



Newsletter 2022 No.3

日本観光ホスピタリティ教育学会学会報

通巻 第63号 発行日:2023年2月27日

◇学会事務局:〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1
杏林大学外国語学部内 Email: jimujsthe.org
Tel 0422-47-8000 (代表) Fax 0422-47-8077 (共用)

◇学会 Web: <http://jsthe.org>

◇編集・発行人: 大島知典 (toshima@hannan-u.ac.jp)

【2022年度全国大会のお知らせ】

今年度の全国大会は、2023年3月4日(土)・5日(日)の2日間にわたって、「科目「観光ビジネス」導入による現状と今後の展望」をテーマにハイブリッド型で開催します。

参加申し込みについては、ウェブサイトからの登録となっております。以下のURLおよびQRコードからアクセス可能です。特に、1日目「基調講演・話題提供・シンポジウム」は非会員の参加も可能ですので(要ウェブ登録)、お誘い合わせの上ふるってご参加ください。

全国大会参加申し込み

URL: <https://jsthe20230304.peatix.com/>



1. 会場

・リアル会場: 四国大学(徳島県徳島市応神町古川字戎子野123-1)(徳島駅から路線バス約15分「四国大学前」下車 徒歩3分)

教室: P館1階・2階 B館 1階・2階

・オンライン会場: ビデオ会議システム「Zoom」

2. プログラム概要

メイン会場(N209) サブ会場(P201 P204)

[1日目: 3月4日(土)]

11:00~12:00 理事会

12:30 リアル会場受付開始、Zoom入室開始

13:00~15:00 研究報告・教育実践報告

(P102/P201/P204)

第1会場

①「「場所性」に基づく地図作りを題材にした高大接続教育の実践: 能登と横浜の高校生をつなぐ取り組み」

森園 奈央(東海大学)・服部 泰(東海大学)

②「観光教育の視点から見た高等学校教育改革推進事業(地域魅力化型)の分析: 令和3年度の報告書を基に」

岩田 聖子(大阪医科薬科大学)・峯俊 智穂(立命館大学)

③「「高大連携・教育実践」事例の将来的なデータベース構築に向けた検討: 2022年度グループ研究助成採択 研究成果報告」

峯俊 智穂(立命館大学)・中村 哲(玉川大学)・野口 洋平(杏林大学)・古本 泰之(杏林大学) 岩田 聖子(大阪医科薬科大学)・鈴木 涼太郎(獨協大学)・澁谷 和樹(立教大学)

④「科目「観光ビジネス」導入に向けた高大連携推進に関する考察: 既存の実践例を手掛かりに」

鈴鹿 剛(四国大学)・宍戸 学(日本大学)・千葉 里美(札幌国際大学)

中村 成宏(静岡県立島田商業高等学校)

⑤「商業科教員養成課程における科目「観光ビジネス」の指導に関する考察」

宍戸 学(日本大学)

第2会場

①「観光リカレント教育実践報告」

小野田 金司(大阪観光大学)

②「「地域課題探究型修学旅行プログラム」の開発と実践~JTBとの連携による教育×観光モデル創造~」

藤原 章(長崎総合科学大学)

③「集落の社会的機能にみる過疎地域の現状と課題: 域学連携と関係人口のあり方に着目して」

藤井 善仁(武庫川女子大学)

④「シチズンシップ教育におけるオルタナティブツーリズムの活用: ミャンマーを対象としたドネーションツーリズムの開発を例に」

服部 泰(東海大学)

⑤「日・韓の医療インバウンドに関連する制度と取組みについて」

木内 伸樹(戸板女子短期大学)・張 景泰(駒沢女子大学)

第3会場

①「プロスポーツチームとの大規模長期インターンシップの実践報告」

大串 恵太(追手門学院大学)・太田 昌志(追手門学院大学)

②「観光を通じた多様性教育の試み: 大学のゼミナールにおける教育実践報告」

大島 安奈(大阪商業大学)

③「観光系大学・短大における「観光英語」授業の研究: 訪日外国人接遇のための英語教育という観点からの考察」

渡辺 幸倫(相模女子大学)・宮本 節子(相模女子大学)

④「ツーリズム・リテラシー獲得を通じたグローバル人材育成の展望について」

浦 聡美(明星大学)

- 15:00 シンポジウム
リアル会場受付開始、Zoom 入室開始
(N館2階 N209 教室前)
- 15:10 開会式
[総合司会：福本 賢太 氏 (阪南大学)]
- 15:15～15:55 基調講演「商業高校における観光教育と科目「観光ビジネス」」
西村 修一 氏 (元文部科学省初等中等局教科調査官・千葉商科大学商経学部准教授)
- 15:55～16:10 話題提供「国際的なイベントを活かした地域での観光教育～東京オリパラ ホストタウンから2025年大阪・関西万博へ～」
勝野 美江 氏 (徳島県副知事 ビデオ出演)
- 16:20～17:30 パネルディスカッション
「科目「観光ビジネス」導入による現状と今後の展望」
パネリスト
鈴鹿 剛 氏 (四国大学経営情報学部 准教授)
川村 知輝 氏 (四国大学 4年生)
黒田 忠良 氏 (一般社団法人ツーリズム徳島 代表理事)
中村 成宏 氏 (静岡県立島田商業高等学校 教諭)
- コーディネーター
宍戸 学 氏 (日本大学国際関係学部 教授、本学会会長)
- コメンテーター
西村 修一 氏 (千葉商科大学商経学部 准教授)
- 17:30～18:00 名刺交換会

[2日目：3月5日(日)]

- 09:15 リアル会場受付開始、Zoom 入室開始
(N館2階 N209 教室前)
- 09:30～11:00 ワークショップ
(P棟4階 P401 P402 P403)
- ① 教育実践 (高大連携)
[モデレーター：峯俊 智徳 氏 (立命館大学)]
- ② 言語とコミュニケーション
[モデレーター：総田 はるみ 氏 (横浜商科大学)]
- ③ 地域インターンシップ (地域で観光人材をどう考えるか)
[モデレーター：鈴鹿 剛 氏 (四国大学)]
- 11:10～11:40 ワークショップ報告
[司会：藤田 玲子 氏 (成蹊大学)]
- 11:40～12:00 閉会式
[総合司会：福本 賢太 氏 (阪南大学)]
- ※ 新型コロナウイルス感染症等の要因によりプログラムの内容・時間等を変更することがあります。

3. 大会参加費

- 正会員・名誉会員・非会員 (一般)：2,000 円
準会員・非会員 (大学院生・学部生)：1,000 円

4. 問い合わせ先：学会事務局 e-mail : jimmu@jsthe.org

【理事会報告】

日時：2022年11月26日(土) 13:00～14:30

場所：阪南大学あべのハルカスキャンパス・オンラインウェア「Zoom」にて開催

出席：橋本副会長、藤田副会長、大串理事、鈴木理事、中井理事、中村理事、難波理事、古本理事、峯俊理事、板垣幹事、岩田幹事、大島知典幹事、澁谷幹事、鈴鹿幹事、森園幹事

欠席：宍戸会長、坂本理事、芝木理事、千葉理事、野口理事、福本理事、高橋監事、永田監事、大島安奈幹事

[報告事項]

議事1. 会務報告 (各委員会・事務局より)

編集委員会の鈴木理事より機関誌が校了となり、来週納品予定であることが報告されました。

[審議事項]

議事1. 2022年度全国大会について

全国大会の内容について説明がありました。

現時点での研究報告・教育実践報告の応募状況を踏まえ、発表会場数及び発表プログラムの案が示され了承されました。2月1日の原稿締切後、発表者数に変更があった場合の対応は編集委員会に一任することになりました。

基調講演及びシンポジウムについて、話題提供として勝野美江氏(徳島県副知事)がビデオ出演することが認められました。

ワークショップのモデレーター、ワークショップ報告・開会式・閉会式の司会が決まりました。

参加費について検討され、リアル・オンライン参加ともに正会員・名誉会員・非会員(一般)は2,000円、準会員・非会員(大学院生・学部生)は1,000円となりました。また、非会員でもすべてのプログラムに有料で参加可能です。一方で、要旨集は会員のみ配布し、オンラインで参加する会員には後日、要旨集を郵送することになりました。

あわせて、オンライン参加者への対応が検討され、研究報告・教育実践報告及びシンポジウムの質問はチャットで受け付けること、個別のワークショップ会場の様子は配信しないこと、ワークショップ報告と閉会式を配信することが決定されました。

会員数の少ない四国での開催であることから、対面参加者が少なくなるという懸念が示されました。関西を中心に集客に力を入れてほしいと意見がありました。

基調講演、シンポジウムの登壇者に対する謝金が確認されました。

議事2. 次期理事会検討委員会について

宍戸会長より次期理事会検討委員会として、立教大学の橋本副会長、杏林大学の古本理事、立命館大学の峯俊理事が指名されました。現理事会役員は役員の継続可否

を検討委員会に伝えるよう説明がありました。

学会の将来を見据え、大学院生や若手教員の選出を求める意見がありました。

議事 3. 2023 年度総会について

6 月 10 日 (土) に開催し、シンポジウムは「教育実践」をテーマとする予定です。開催場所は 3 月の理事会で検討します。基調講演、話題提供、シンポジウムのテーマ及び登壇者の案が示され、意見交換をしました。

議事 4. 入退会審査

正会員 1 名、準会員 1 名の入会及び、1 名の退会が承認されました。

議事 5. その他

インボイス制度の対応を見送ることになりました。

倫理規定の策定について、次回理事会で事務局が素案を提示することになりました。

事務局の古本理事より、J-Stage への投稿に関する現状説明がされるとともに、対応策が 2 つ提示されました。一つは学会が自ら PDF のアップロードをする方法で、もう一つは外注サービスに委託する方法です。次回理事会にて外注の見積もりを提示し、対応策を検討することになりました。

ウェブサイトのスマートフォン対応、ドメイン (jsthe.org) の変更について事務局の古本理事より説明がありました。スマートフォンへの対応については業者に見積もりを依頼しています。

【新規事業委員会】

ご案内差し上げていた「2023 年度グループ研究助成」は、複数の申請を頂戴し現在審査中です。採択グループ決定後、グループ代表者ならびに会員の皆様にお知らせいたします。

【機関誌編集委員会】

機関誌『観光ホスピタリティ教育』第 17 号

<投稿原稿募集のお知らせ>

日本観光ホスピタリティ教育学会の機関誌『観光ホスピタリティ教育 (英語名: Annals of Tourism & Hospitality Education)』の投稿原稿を募集いたします。

観光ホスピタリティ分野の教育活動を行っている大学院、大学、短期大学、専門学校、高等学校はますます増加しております。会員の皆様がかかわったさまざまな教育実践の取り組みや学術的な研究の成果をぜひ、本学会の機関誌でご発表ください。

会員の皆様からの投稿を編集委員会一同、心からお待

ちいたしております。また、編集委員会から原稿執筆などをお願いした際には、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

■ 第 17 号の原稿締切日: 2023 年 4 月 30 日 (日) ※締切厳守

原稿投稿先: 投稿申込書 1 部 (Word) と投稿者の氏名を削除した審査用原稿 1 部 (Word および PDF) にて本学会本部事務局 (jimujsthe.org) にメールで送付。申込書は本学会ホームページからダウンロードください。

【編集人より】

ニューズレターでは、会員の皆さまから提供された観光ホスピタリティ教育の情報や書籍紹介を掲載しております。書籍紹介は、原則として本学会会員が執筆した発行から 2 年以内の書籍 (定期刊行物を除く) を扱います。ぜひ、情報を編集人までお寄せ下さい。

編集・発行人 大島知典 (阪南大学)
E-Mail : toshima@hannan-u.ac.jp
FAX : 072-332-1224 (大学代表)

【事務局からのお願い】

学会事務局では、会員の皆様への情報配信の頻度を高めるべく、メーリングリストを作成しております。メーリングリスト未登録の会員で配信を希望される方は、学会事務局 (jimujsthe.org) にご連絡をお願いします。今後の主な情報配信媒体をメーリングリストに移行することを計画しており、何とぞ登録のほどよろしくお願い申し上げます。

【学会 SNS アカウント】

Facebook

<https://www.facebook.com/jsthe.org/>

Twitter

<https://twitter.com/JSTHEducators>